



# 学校だより

令和4年6月30日  
横浜市立上白根小学校  
【7月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



## 自信に変えて

校長 山崎 由美

学校説明会でお話ししたように、本校の今年度のテーマは「挑戦（チャレンジ）」です。子どもたちには挑戦を自信につなげ、自分を表現できるようになってほしいと考えています。この3か月、学校では様々な挑戦を始めています。

まずは、スポーツフェスティバル。今年は6年生のサポート活動を入れてみようとの初めの試みに挑戦しました。とにかく初めてのことで、どんな仕事が子どもたちにできるか考えるところからスタートしました。当然、子どもたちもイメージがわきません。リハーサルの時は、手持ちぶさたの子、徒競走のアナウンスで言葉に詰まっている子などがあちこちで見られました。でも、それはやる気がないというわけではなく、どうしていいか気持ちと行動が結び付けられず困っているという状態ではないかと思いました。リハーサル後、6年生の先生が子どもたちにリハーサルを終えたからこそ見えた、わからなくて困ったこと、これはやってもいいか迷ったことなどを聞き、子どもたちと話し合ってくれました。自分たちの気持ちを表す自信をもてた6年生は、スポーツフェスティバル当日、見違える動きを見せてくれました。アナウンス用に使えるような言葉を集めてきた子、低学年のリレーの時にリレー選手にバトンゾーンの順番を教えていた子、リレーのアナウンスもやらせてほしいという子などなど。教師に言われたことをするだけでなく、こうしたいという自分の役割を理解した動きに変わりました。とても素晴らしい姿でした。うまくいかなかったと思ったところもあったでしょう。でも、初めてのことに挑戦し、精一杯やった6年生たちは終わった後、充実した表情を浮かべていました。

そして、6月中旬に行った4年生の校外学習。電車のみでの移動に挑戦しました。乗ったら現地まで連れて行ってくれるバス移動とは違い、たくさんの乗客がいる電車では駅のたびにどちらのドアが開くか他のお客さんの動きを意識していなければなりません。降り損ねてしまったら一人になってしまう緊張感。中山駅までの往復の徒歩移動もあり、帰りはへとへとになっていました。最後まで歩き切り学校に到着した時の顔からは、疲労と共にやり切ったという気持ちを味わったことが感じられました。

「挑戦」にはいろいろな形があります。初めてのことをやってみる挑戦。うまくできなかったことをもう一度やってみる挑戦。うまくできたことをさらによくするための挑戦。どんな挑戦でも構いません。小さなことでもいいのです。7月末から始まる夏休みに、ご家庭でも子どもたちにたくさんの挑戦をさせてみてください。そして、結果ではなく、挑戦した気持ちやどう考えたのかというプロセスを認めてください。長い夏休みが終わった時、きっと子どもたちの中には自信という種が育っていくはずですよ。